

慶應外語 2020 年度春学期		シラバス Syllabus	
講座名	ロシア語会話を楽しむーロシア語コミュニケーションー		
外国語科目	レベル	曜日	担当講師名
ロシア語	上級	月曜日	三神 エレーナ (ミカミ エレーナ)
使用テキスト	プリントを配布します。(主要教材は 富田マルガリータ、山田徹也『БЕСЕДАー ロシアを知り日本を語るためのロシア語会話』とします。その他に複数の教材を使います。)		

当講座の目標：

当講座の主な目標は、ロシア語を使ってスムーズなコミュニケーションができるようになることです。そのために今まで得た文法知識を活かしロシア語発話能力及び聞き取り能力を伸ばすこと、実際の会話に使えるロシア語のボキャブラリーや表現できる幅（慣用句や挨拶的なフレーズを含めて）を広くすること、そしてロシア語発話の文体的な違いもより理解できるようになることを目指します。また、日本のことをロシア語で語り、紹介できるようになることも目指します。異文化を知り、様々な場面・状況に応じた円滑なコミュニケーションを行えるようになりましょう。

授業の内容：

ロシア語でコミュニケーションを円滑に行えるようになるためにこの授業では様々な練習を通じて実践的な会話力を徐々に身につけていくことに力を入れていきます。学んだことを定着させ、活用できるようにするために、様々な場面・状況を想定した会話練習、ロールプレイ、逐語通訳練習なども積極的に授業に取り入れていきます。

授業は決まったテーマの中心に行います。春学期には異文化コミュニケーションの中によく出ている話題、「自己紹介」、「自分自身のことを少々」、「家族について」、「ロシアと日本の家」、「ロシア料理と和食」というテーマを取り上げます。まず会話のサンプルとしてテーマごとのテキストを読みましょう。そのあとに関連する単語や表現を会話練習（講師・学生同士との会話やロールプレイ）の中で実践的に覚えていきましょう。

また、それぞれのテーマの重要な単語や文法、構文などを聴解・口述練習によっても覚えていきましょう。音声データの使ったシャドーイングや通訳練習では聞き取り能力が伸びて、きれいな発音と自然なイントネーションも身につけられます。さらにペアワークまたはグループワークによってフリートーク練習も行います。

授業で使われる音声データは、ダウンロードできるようにします。また授業で学んだテーマと関係のある映像資料も紹介します。

講座日	講座の計画
第1週 4月13日	自己紹介：ロシア語での質問。(どんな目的でロシア語を勉強しているのか。いつ、どこでロシア語の勉強を始めたのか。ロシアに行ったことはあるのか。ロシアに行く予定はあるのか等)。 紹介の場におけるエチケットとロシア人の名前について。聴解練習と発音練習。 テキスト「第1課：はじめての出会い」と「質問と課題」。
第2週 4月20日	国、国籍、出身、言語に関する聴解問題、会話練習。 テキスト「第2課：自分自身のことを少々」の読解、第2課の「質問と課題」。

第3週 4月27日	「自分自身のことを少々」の続き。職業、趣味。履歴書やプロフィールアンケートの語彙。聴解問題、会話練習。
第4週 5月11日	「家族について」：家族、人の性格に関する単語、表現、慣用句。聴解問題、会話練習。テキスト「第3課：家族」の読解。
第5週 5月18日	「家族について」の続き。第3課の「質問と課題」。時間表現に関する聴解問題、会話練習。
第6週 5月25日	「家族について」の続き。長文の聴解、会話練習。会話における自然な反応フレーズ、確認フレーズの練習。
第7週 6月1日	「ロシアと日本の家」。テキスト「第4課：日本の家屋について」の読解。会話練習。第4課の「質問と課題」。
第8週 6月8日	「ロシアと日本の家」の続き。状態を表す動詞と状態変化を表す動詞、前置詞。聴解問題、会話練習。
第9週 6月15日	「ロシアと日本の家」の続き。日本の家屋の特徴、ロシアの家屋との比較。会話練習。
第10週 6月22日	テキスト「第5課：ロシア料理について」の読解。「質問と課題」。料理、メニューにの語彙に関する聴解問題、会話練習。
第11週 6月29日	テキスト「第6課：ロシアレストランで」の読解。「質問と課題」。聴解問題、会話練習。
第12週 7月6日	「日本料理について」。聴解問題、会話練習。
<p>担当講師から受講生へのコメント： シラバスはあくまでも目安です。授業の進度等は受講生の実力に合わせてしますので、授業が必ずしもシラバス通りに行なわれるとは限りません。講座の内容も、初回授業でお尋ねする受講生の要求などに合わせて多少編集できます。</p>	